

# この本でとりあげた学習活動一覧

本誌 ページ	所在地・学校名	学習活動の大単元名 (本誌の見出しとは異なります)	対象学年		教科						
			小学校	中学校	総合	理科	社会	国語	図工	その他	
4	群馬県 邑楽町立 たかしま 高島小学校	楽しさいっぱい！ 渡良瀬川の四季	4 (4～6)		●						
8	東京都 和光学園 わこう 和光小学校	多摩川に働きかけ、 多摩川の自然の姿に学ぶ	4		●	●	●	●	●		
10	愛知県 東栄町立 とうぶ 東部小学校	手作りいかだで川下り	5・6 (全学年)		●						
12	和歌山県 印南町立 せりあがわ 切目川小学校	切目川に学ぶ	6 (5～6)		●						体育
14-	長野県 松本市立 げんち 源池小学校	私たちのカジカいっぱい 薄川	5		●	●		●	●		
18-	滋賀県 高島市立 ひがし マキノ東小学校	川や池、田んぼの水草を 調べよう	4 (3～6)		●	●	●				
20	島根県 出雲市立 わにぶら 鱒淵小学校	美しい川、サケの帰る川 みんな で守ろうふるさとの唐川川を	全学年		●						生活科
22	和歌山県 広川町立 つぎ 津木中学校	ホテルの生息に適した 環境とは何か		全学年	●	●					
24	神奈川県 平塚市立 あさひ 旭小学校	旭の自然を考えよう ～よみがえれ河内川～	6 (3～6)		●						
28	愛知県 刈谷市立 ころもつら 衣浦小学校	下り松川まるごと ウォッチング	5		●	●					家庭科
30	長野県 上田市立 まるこきた 丸子北中学校	中城沢川に、ほたるの里と 自然観察園づくりをしよう		全学年	●						
32	奈良県 五條市立 あた 阿太小学校	川のあるくらしを探ろう	4		●	●	●				特活
36	宮城県 石巻市立 かいほく 開北小学校	みんなの北上川を調べよう	4		●		●				
38	熊本県 熊本市立 じょうなん 城南中学校	川に親しみ、川と地域の つながりを深める	2 (1～3)		●						
40	静岡県 静岡市立 しずはたなか 賤機中小学校	安倍川は、ぼくら私らの 遊び場だ	5 (全学年)		●	●	●		●		
42	高知県 高知市立 おおつ 大津小学校	災害に強いまちづくりプロジェ クト～大津を災害に強いまちに しよう～私たちの願い～	6		●		●	●			
44	福岡県 鞍手町立 むろき 室本小学校	流れる水のはたらき	5			●					

備考：「諸機関との連携」欄の「市民団体」は法人組織と非法人組織両方を含みます。「個人」とは専門的な知識や技術を持った地域の住民や学識者などです。「PTA」には、児童・生徒の保護者も含みます。

季節				活動地の地域特性			諸機関との連携			実践活動						
春	夏	秋	冬	都市	農村	山地	行政	市民団体	その他	親水活動	生物調査	水質調査	清掃活動	その他の特色ある活動	発表	
															校内	校外
●	●	●	●		●		●		PTA	●	●		●	河原の石でオブジェ作り	●	行政主催の発表会
●	●	●	●	●		●	●	●	PTA	●	●	●		合宿して源流体験	●	TV出演
●	●					●	●		PTA	●	●		●	異年齢集団で活動		行政主催の発表会
●	●	●	●			●			個人 PTA	●	●	●	●	川で水泳	●	
●	●	●	●	●					個人 PTA	●	●			せせらぎ造り	●	教育関係の雑誌
●	●	●			●		●	●	PTA	●	●	●	●	カヌー	●	
●	●	●	●		●		●		PTA	●	●	●	●	サケ人工授精	●	地域イベントで展示
●	●	●				●	●		個人 PTA		●	●	●	ホタル飼育・放流	●	地域施設で展示
●	●	●	●	●			●	●	個人 PTA	●	●	●	●	看板制作・設置	●	地域施設で展示
●	●	●	●	●			●	●	個人 PTA		●	●	●	市民・行政を招いて「川サミット」	●	回覧板などを市内小学校へ
●	●	●			●		●		大学住民 PTA		●	●	●	地域住民ととも に学ぶ	●	
●	●	●	●			●	●		個人 PTA	●	●	●	●	カヌー	●	
●	●	●		●			●	●	PTA	●	●	●		カヌー	●	ラジオ、地域イベントで発表
●	●	●	●	●				●	PTA		●	●		職業体験の中に川学習を組み込む	●	
●	●	●	●	●			●	●	PTA	●	●	●	●	アマゴ飼育・放流	●	市の子ども環境会議
●	●	●	●	●			●	●	日本赤十字社 PTA					防災教育	●	行政主催の発表会
		●			●		●							水辺館で理科学習		

# 子どもの水辺サポートセンター

## ●全国の水辺での環境学習・体験活動を支援しています

「子どもの水辺サポートセンター」は水辺に子どもたちのにぎわいを呼びもどそうと平成14年7月に文部科学省、国土交通省、環境省の3省が協力して設立されました。3省連携の「子どもの水辺再発見プロジェクト」をはじめ、全国の水辺での環境学習や体験活動を様々な形で支援させていただいております。

## ●子どもの水辺再発見プロジェクト

このプロジェクトは、子どもたちの河川の利用を促進し、地域における子どもたちの体験活動の充実を図ろうとするものです。各地域において、水辺を活用した体験学習や環境学習等の活動を行っている市民団体、行政、教育委員会、学校等が連携して「子どもの水辺協議会」を立ち上げ、子どもたちが安全に遊べるようなフィールドを「子どもの水辺」として登録すると、各省や当センターから様々な支援を受けられる制度です。

## ●こんな支援をおこなっています

☆ HP やメールマガジンにより①サポートセンターの取り組み・活動に関する情報 ②各種助成制度に関する情報 ③指導者・人材派遣に関する情報 ④関係省庁の施策・制度などに関する情報 ⑤講習会、シンポジウムなどに関する情報 などの水辺の活動に役立つ情報を発信しています。

☆全国の小中学生を対象とした河川環境学習資料を提供しています。  
☆子どもたちの水辺体験活動に必要な、様々な資材を無料で貸し出しています（ライフジャケット、ヘルメット、スローロープ、Eポート等）。

☆川をフィールドとして活動する団体、教育関係者、河川管理者などと協力してネットワークを育て、地域の川の指導者を紹介する等、子どもたちの水辺体験活動をサポートする体制の拡充を図っています。

☆子どもたちが体験をしながら水について学び・考える教育プログラム「プロジェクトWET」の普及や「水辺を活かした環境学習・体験学習に関する全国事例研修会」を開催しています。

☆2003年3月、滋賀県等で開催された「第1回世界子ども水フォーラム」を受け、毎年世界や日本の水事情、水問題等に対する方策を公募により集まった中高生同士で話し合い、その成果を発表するフォローアップ大会を開催し、次世代を担う子ども達の育成を図っています。

## 子どもの水辺サポートセンターにお寄りください

■平日：10時～17時（土・日・祝日・年末年始は休館）

■〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町11-9 住友生命日本橋小伝馬町ビル  
財団法人河川環境管理財団2階（地下鉄日比谷線「小伝馬町」駅2番出口より徒歩1分）

■電話 03-5847-8307

■ファックス 03-5847-8314

■ホームページ <http://www.mizube-support-center.org>

■E-Mail [mssc@mizube-support-center.org](mailto:mssc@mizube-support-center.org)

## 学校の活動等を応援する 河川整備基金助成事業

「よりよい川づくり」「よりよい河川環境づくり」の研究や活動を助成する「河川整備基金」助成事業という制度があります。国民、企業などの幅広い協力です。1988年にこの基金が創設されました。水害被害の軽減や河川の生態系、水質浄化などに関する研究や、河川をテーマとする市民の交流活動や、啓発活動などに助成を行ってきました。

## ●小中高等学校での河川を題材とした

「総合的な学習の時間」の活動に助成しています

とくに2002年度から始まった小中高等学校での「総合的な学習の時間」で河川を題材とした環境学習や体験活動をしている学校を新たに助成対象に追加しました。助成金は地域の専門家への講師依頼や調査に必要な機材の購入などに当てられています。2005年度は219件の事業を助成しています。この本で紹介されている活動の多くもこの助成を受けています。助成金額は一件10万円以内で、詳細や応募様式は河川環境管理財団ホームページ（<http://www.kasen.or.jp>）をご覧ください。

## 小中学校の水辺での活動を支援するサイト

### ●子どもの水辺再発見プロジェクト

<http://www.mlit.go.jp/river/kankyoku/kodomo/right.html>

### ●子どもの水辺サポートセンター

<http://www.mizube-support-center.org/>

### ●河川整備基金助成事業について【(財)河川環境管理財団 HP トップページ】

<http://www.kasen.or.jp/>

### ●プロジェクトWET

<http://www.kasen.or.jp/wet/>

### ●国土交通省河川局 KidsWeb

<http://www.mlit.go.jp/river/kidsweb/index.html>

### ●川に学ぶ体験活動協議会

<http://www.rac.gr.jp/>

## ◎宝くじー口メモ

◆地方公共団体（都道府県や市町村のことです）は、学校や保育園とか警察署や消防署を設けたり、道路を造ったり、病院や水道を運営したり、などなど皆さんの毎日の生活に欠かせない仕事をしています。

◆こういう仕事には、お金がたくさんあります。そのため、お父さんやお母さんは税金を納めたり、施設を使うときにお金を払ったりします。

◆宝くじは、このような仕事の一部に必要なお金を得るため、全国の都道府県と指定都市が発行しているのです。

◆宝くじを買ってもらったお金から賞金や必要経費を差し引いた残りのお金が地方公共団体の収入になります。

そして、宝くじを発行して得た地方公共団体の収入は、平成16年度では4273億円に上ります。

◆このお金は、道路をよくしたり、川を安全にしたり、公園をつくったり、交通安全のためなどいろいろ必要なことに使われます。

◆もちろん子どもたちのためにも使われています。たとえば、学校や保育園をつくったりよくしたり、児童館をつくったり、病気になった小さな子どもたちのために使ったりというように子どもたちのためのいろいろな仕事にも使われています。

### ■資料・写真提供・取材協力

この本は活動事例を紹介させていただいた各学校の先生方のご協力により作成されました。

#### ●編集協力

株式会社 学習研究社

#### ●2006年2月28日発行

#### ●編集・発行

財団法人 河川環境管理財団



### 本部・子どもの水辺サポートセンター

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町11-9

住友生命日本橋小伝馬町ビル

TEL: 03-5847-8307 FAX: 03-5847-8314

### 協賛



ときめきや憧れがもっと増えると、  
世界はいつそう輝くかも知れません。

あたたかな願い、天まで届け。  
いつまでも、宝くじのハッピーを。

その夢、ず～っと未来まで  
続きますように。



宝くじの収益金は、  
身近な街づくりに役立っています。

宝くじ



財団  
法人

日本宝くじ協会

当せんはしっかり調べて、しっかり換金。

<http://www.takarakuji.nippon-net.ne.jp>

●外国発行の宝くじを、日本国内において購入することは、法律で禁止されています。